

福岡大学病院 脳神経外科 市民公開講座

テーマ：脳神経外科の最先端手術

福大病院脳神経外科では、従来の開頭手術のみならず、近年では低侵襲手術としてカテーテルを用いた血管内治療、神経内視鏡を用いた内視鏡手術も多く行われています。さらに、開頭手術においても低侵襲な手術方法を開発すると同時に脳の地図となる Navigation system、カテーテル治療と開頭手術が同時に可能となる Hybrid手術室、3D-プリンターなどの最新の医療機器を用いた治療方法にも取り組んでいます。また患者さんの生活向上のための末梢神経を含めた機能外科手術も積極的に行なっています。救命センターでは、未曾有のコロナ禍の中、最後の砦として、脳卒中診療に取り組み、365日24時間体制で治療を行っています。今回の市民公開講座では、最先端の脳神経外科手術に取り組んでいる福大病院脳神経外科を市民の皆様に紹介したいと思います。多くの方々の参加をお待ちしております。

開催日：令和4年10月22日（土曜日）

13:00～15:00

会場：福大メディカルホール（福大病院）
（地下鉄七隈線福大前駅下車徒歩1分）

募集人数：120名（事前参加申込要）

参加費：無料

申込方法：

1. インターネット・SNSで申込

- ・QRコードからの申込
- ・福岡大学医学部脳神経外科ホームページより申込
- ・公式InstagramへのDM

2. 電話・FAXでの申込

事務局連絡先：福岡大学脳神経外科医局（秘書池田）

電話 092-801-1011内線3445 FAX 092-865-9901

【プログラム】

開会の挨拶 13:00 ～ 13:05

福岡大学脳神経外科 教授 安部 洋

第一部 13:05～14:05
コロナ禍の脳卒中治療

座長 福岡大学救命救急センター 准教授 岩朝光利

開頭手術の新たな選択
- Hybrid手術と低侵襲手術 -

福岡大学脳神経外科 助教 小田一徳

脳梗塞カテーテル治療の最前線

福大病院脳神経外科 講師 小林広昌

福岡大学脳神経外科 講師 竹本光一郎

第二部 14:15～14:55
脳腫瘍手術の最新の進歩
- 遺伝子診断と神経内視鏡手術 -

座長 福岡大学脳神経外科 講師 竹本光一郎

より良い生活のための機能外科手術

福岡大学脳神経外科 助教 榎本年孝

福岡大学脳神経外科 准教授 森下登史

閉会の挨拶 14:55

福岡大学脳神経外科 准教授 森下登史

